

40 人が想像できることは

「人が想像できることは、人が必ず実現できる」これは、某 CM でも有名ですが、19 世紀後半から 20 世紀初頭に活躍したフランスの冒険小説家ジュール・ガブリエル・ヴェルヌの言葉です。（「海底二万里」「十五少年漂流記」「八十日間世界一周」等）

なにゆえこんな言葉を紹介しているかということ、実は先日、給食のメニューに「ビーフストロガノフ」が出ました。私が小学生の頃は、米飯はありませんでした。それが今ではパンよりも米飯のほうが多くなっています。私が教員になりたての頃は「納豆」や「ラーメン」は給食のメニューとしてあり得ないだろうと言われていました。しかし昨今の給食では登場しています。同じように「ビーフストロガノフ」が給食に登場することはまさに「想像」の世界であって、現実になるとは当時思いもよりませんでした。

釜利谷小学校の廊下には様々な掲示物があります。その中の一つに「いじめゼロの楽しい学校をつくろう」があります。4 月に着任して子どもたちと「しっかりあいさつしよう」「いじめはしない、させない、許さない」を約束し進んでまいりました。あいさつにしてもいじめに関しても、残念ながらまだまだ十分とは言えません。しかしながら、そのどちらも釜利谷小学校の子どもたちが、教職員や保護者・地域の皆様と一緒に、しっかり取り組んでいくことは想像できますし、そういう学校を創造していきたいと努力しています。

人が想像できることは、人が必ず実現できる。前期が来週で終わります、後期に向けて一歩一歩進んでいきたいとおもっています。